



栄町と野田市で出前あすなろ塾を開催しました。栄町では「分かる・できる授業づくり」と「保護者との関係づくり～生徒指導・保護者対応のケース演習」の研修に9名の先生方が、野田市では「学級づくりのポイント～個を育てる」と「道徳の授業づくり」の研修に19名の先生方が参加しました。

受講された先生方は、日頃の実践を紹介し合ったり、悩みを共有し合ったりして、非常に熱心に研修に取り組んでいました。

栄町（令和6年6月7日）

当日の様子と 参加者の声



『思考し、表現する力を高める実践モデルプログラム』を意識し、児童が課題を解決したいと思える導入、展開を行っていききたいです。生徒指導に関しては、問題が起きてからではなく、問題が起きる前の児童の支えを重点的に行って行きたいと思っています。

今後の子供への向き合い方や保護者対応の仕方などをすぐに実践していきたいと考えています。また、授業に関しては、導入でいかに子供の興味や疑問を引き出せるかで、その1時間がよりよいものになるかも決まってくると考えるため、導入で今後も勝負していきます。



理論で学んだことを実際にグループでやってみることができ、とても理解が深まりました。基本の部分から応用まで知ることができたので、すぐに取り入れていきたいと思っています。

野田市（令和6年6月18日）

当日の様子と 参加者の声



子供たち一人一人の理解や信頼関係の構築は大切であるため、普段の学校生活だけではなく日常生活においても、学んだメッセージやコーチングを取り入れ、自己肯定感が高められるような工夫を行っていききたいと思っています。

道徳については、発言力のある子の意見にみんなが納得してしまい、考えを広げられないことが悩みでしたが、今回学んだことを生かして、さまざまな立場から考えられるようにしたいと思います。早く道徳の授業がしたいという気持ちになりました。



今日の講義を聞き、明日からの児童に向き合う態度や、授業を考えていく上で、児童のために、そして私自身も成長していけるようにこれからも努力していきたいと思っています。また自分の技術向上のためにも講義を受けたいと思っています。